

図 書 を お 譲 り し ま す

リユース事業（本の払い下げ）
12月1日(土)、2日(日)
午前10時15分から午後4時まで



昨年の様子

図書館本館3階学習室にて、除籍した本を約7900冊展示します。

2日目にも本を追加します。ぜひ両日ともお越しください。

一人10冊まで持ち帰ることができます。

寄贈本のリユースコーナーもあります。こちらはご自由にお持ち帰りいただけます。

- *本を入れる袋やエコバッグなどを、お持ちください。
- *お持ち帰りになった本は、家庭内でご使用ください。
- *できるだけ公共交通機関をご利用ください。図書館駐車場が満車の場合は、市役所駐車場へ停めていただくことがあります。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

古内 一絵

(ふるうち かずえ 1966年東京生まれ)
映画会社勤務を経て、中国語翻訳者に。2011年『快晴フライング』（ポプラ社）でポプラ社小説大賞特別賞を受賞しデビュー。2017年『フラダン』（小峰書店）で、第6回JBBY賞（文学小説部門）を受賞する。他の著書に『風の向こうへ駆け抜けろ』、『蒼のファンファーレ』、『痛み の 道標』（いずれも小学館）がある。

昨年、高校生向け課題図書『フラダン』を読んで、震災後の福島で奮闘する高校生の話に涙したのが、古内一絵さんの作品との出会いでした。今回紹介したいのは、『マカン・マラン』（中央公論新社）です。

商店街の裏路地、人ひとりやっと通れる細い道に入っていくと、忽然と現れる夜食カフェ。日常に疲れた人々がそこを訪れ、店主が作った優しい料理で心身共に癒されます。店主は元エリートサラリーマンでドラッグクイーンのシャール。設定だけでも興味をそそられますが、読み進めていくとそれぞれの登場人物に共感でき、心が温まります。この作品は、後に『女王様の夜食カフェ』、『きまぐれな夜食カフェ』とシリーズが続きます。疲れて、ほっこりした気分になりたい時、ぜひ読んでみて下さい。

(帷子分館 倉知)

レイ・ブラッドベリ

(1920～2012年 アメリカ・イリノイ州生まれ)
1947年に最初の短編集『黒いカーニバル』が刊行される。作品はSFから幻想文学まで幅広い。O・ヘンリー賞、世界幻想文学大賞ほか受賞多数。代表作に『火星年代記』『華氏451度』（早川書房）、『たんぼぼのお酒』（晶文社）など。2012年、91歳で死去。

ブラッドベリの名作『たんぼぼのお酒』に続編があるのをご存知ですか。それが今回ご紹介する『さよなら僕の夏』（晶文社）です。原題はFarewell Summer、夏の終わりに咲く花だそうです。2007年に邦訳されました。前作は1971年（原著は1957年）でした。

作中では、前作の一年後の14歳になるとうとするダグラス・スプールドィングの夏の終わり10月が舞台です。町の老人との戦い、時計塔の襲撃といった事件の中に、子どもや老人、人生や時間、などといったものが詩的な文章でつづられています。

『たんぼぼのお酒』は目も眩まんばかりの夏の煌めきの中にありましたが、それが影をひそめたぶん読みやすく、より共感できるかもしれません。何よりこれを書いた80歳代のブラッドベリの感性こそが驚きです。少年と、かつて少年だった方に。それから一度も少年ではなかった方にもおすすめです。

(本館 橋本)

分類	書名	著者名	出版者名
心理・宗教			
146.8/ウ/	子どものためのマインドフルネス 心と体をじょうずにコントロールする方法を身につけよう! 気持ちが落ち着く、集中力が高まる、元気が出るといった効果のある、簡単で楽しいエクササイズ 30 を、やさしい語り口と愉快的イラストで紹介しします。	キラ・ウィリー／著	創元社
198.2/ワ/	“ふがない自分”と生きる 渡辺和子 NHK・Eテレ「こころの時代～宗教・人生～「“ふがない自分”と生きる」」を書籍化。人々に生きる勇気と希望を与え続けたシスター・渡辺和子が、その心の世界を語る。ふっと心が軽くなる、愛と示唆に満ちた言葉が満載。	渡辺和子／[述]	金の星社
歴史・伝記			
204/シ/	陸と海 最近の緊迫する世界情勢を反映して再び脚光を浴びている、シュミット地政学の傑作。世界史の進路を「陸の国」(ビヒモス)と「海の国」(リヴァイアサン)の戦いの歴史として考察する。	カール・シュミット／著	日経 BP 社
289.1/7/	光秀からの遺言 明智光秀、そして明智氏の真実を明らかにする、光秀の末裔による歴史捜査。今までまったく不明とされた明智氏の発祥から光秀に至るまでの系譜と、光秀の謎とされる前半生を含む、生誕から滅亡までの生涯を紹介する。	明智憲三郎／著	河出書房新社
291.5/マ/	みのひだ雑学 古くから人・物・文化の交流点であり、独自の文化が醸し出されてきた岐阜県。その食文化、くらし、産業、学び、祭り、伝承、地理、地名、街道、歴史などについて解説する。面白い雑学ネタが満載。	松尾一／著	岐阜新聞情報センター出版室
社会			
311.7/レ/	民主主義の死に方 現代の民主主義の死は、選挙から始まる。20 世紀にヨーロッパやラテンアメリカで起きた民主主義の崩壊を長年研究してきた 2 人の著者が、世界の民主主義の現状を分析し、将来に向けて打つべき手を提言する。	スティーブン・レビツキー／著	新潮社
335.2/コ/	コンフィデンシャルあの会社の真実 普段のニュースや報道では出てこない、裏側の動きを丁寧に追い、様々な角度から深掘りする、『日経電子版』の連載「コンフィデンシャル」の人気記事を書籍化。任天堂、三井三菱、ヤフーなど、注目企業の「裏事情」に迫る。	日本経済新聞社／編	日本経済新聞出版社
自然科学・医学			
440.4/タ/	忙しすぎる人のための宇宙講座 宇宙についての重点だけを最短最速で学べる入門書。宇宙のかたちやなりたち、ビッグバンからダークエネルギーの謎まで、宇宙に目を向けることの面白さを知るのに必須の事柄を選びぬいて解説する。	ニール・ドグラス・タイソン／著	早川書房
494.5/ワ/	女性のがんと外見ケア 女性に多いがんと治療に伴う副作用について、がんの種類・治療法ごとに解説。肌や爪の変化、頭髪の問題、創あと、体型変化についての対処法や、見た目の変化を目立たなくするメイクや下着などを具体的に Q&A 形式で紹介する。	分田貴子／著	法研
498.5/ウ/	食育のウソとホント 旬だからおいしい? 日本型食生活だから健康? 食卓の団らんが日本の伝統? 教育現場にしのびこむ怪しい「和食」賛美を、膨大な文献資料をもとに検証する。痛快な近代日本食文化史。	魚柄仁之助／著	こぶし書房
技術・家政			
521.8/ハ/	地形と立地から読み解く「戦国の城」 城の地形と立地に注目して、戦国時代の城を紹介。訪れやすい城を例として取り上げ、その地形と立地が選ばれた理由、役割と意義、実用性、戦い方などを解説する。	萩原さちこ／著	マイナビ出版
596/ハ/	親に作って届けたい、作りおき 作る人は無理なく! 食べる人は気兼ねなく! 20 年にわたり老いた親、義母に料理を届けている著者の愛情と工夫の集大成。「肉・魚介」「野菜」「ごはん・パスタ」などに分け、高齢者が食べやすい作りおきレシピを紹介。	林幸子／著	大和書房

599.7/タ/	小児科医のぼくが伝えたい最高の子育て	高橋孝雄／著	マガジンハウス
	どの子どもも、親から受け継いだ素晴らしい素質を持っている。親はあたたかく見守ればいだけ。持って生まれた才能は、いつか必ず花開く！小児科医 36 年間の経験に基づいた、納得の子育て論。		
芸術・スポーツ			
726.1/ミ/	「その後」のゲゲゲの女房	武良布枝／著	辰巳出版
	「ゲゲゲの女房」がベストセラーになり、ドラマ化、映画化されたことで激変した日常、水木しげるが倒れてこの世を去ってしまった悲しみの時間、夫が遺していった作品や品物、これからの人生…。前作のその後の 10 年を綴る。		
778.2/カ/	あの映画に、この鉄道	川本三郎／著	キネマ旬報社
	失われゆく鉄道の風景が映画のなかに甦る。評論家で鉄道ファンでもある川本三郎が、日本映画に登場した全国の鉄道を廃線になった鉄道も含めて紹介。各地域の路線図、駅舎や車両の写真も多数収録。		
786.1/ア/	死に山	ドニー・アイカー／著	河出書房新社
	学生登山家 9 名が凄惨な死に様で発見された、旧ソ連・ウラル山脈で起きた遭難事件「ディアトロフ峠事件」。原因は雪崩か吹雪か、あるいは衝撃波か？アメリカ人ドキュメンタリー映画作家が、未解決事件の全貌と真相に迫る。		
語学			
809.2/タ/	おとなママの会話術	辰巳渚／文	岩崎書店
	相手を思いやるさりとしたひと言や謙虚なことば、誠意あるひと言、時候の挨拶…。学校や PTA、ママ友など、子どもをめぐるお付き合いで「また会いたい」と思ってもらえるようなことばや言い回しをたくさん紹介します。		
809.2/フ/	人は「のど」から老いる「のど」から若返る	福島英／著	講談社
	のどを鍛えたら健康で長生きできる！声力の身につけ方から好印象になる声の出し方、加齢した声や誤嚥性肺炎予防のコツまで、わかりやすく解説する。のどに関する Q&A も収録。		
日本文学－文学論・詩歌			
910.2/シ/	島崎藤村と木曾の旅		産業編集センター
	島崎藤村の生涯を「馬籠」「破戒」といった 8 つのキーワードで辿りながら、山深い木曾の絶景と藤村ゆかりの宿場を豊富な写真で紹介する。「千曲川のスケッチ」の舞台、小諸もガイドする。		
911.1/ワ/	牧水の恋	俵万智／著	文藝春秋
	旅と酒の歌人・若山牧水は、恋の歌人でもあった。若き日をささげた恋人の持つ秘密とは。高校時代に牧水の短歌に出会って心から共感した著者が、牧水の恋の絶頂から疑惑、別れまでの秀歌を味わいつくす評伝文学。		
日本文学－小説			
913.6/アガ/	ことことこーこ	阿川佐和子／著	KADOKAWA
	結婚 10 年目に離婚し、実家に戻った香子。フードコーディネーターとしての新たな人生を歩み出した矢先、母・琴子に認知症の症状が…。笑いと希望の介護小説。		
913.6/アサ/4	天子蒙塵 第 4 巻	浅田次郎／著	講談社
	満洲で溥儀が皇帝に復位しようとしている。そんななか、新京憲兵隊将校が女をさらって脱走する事件が発生。欧州から帰還した張学良は、上海に襲い来る刺客たちを返り討ちにして…。完結巻。		
913.6/イケ/4	下町ロケット [4] ヤタガラス	池井戸潤／著	小学館
	トランスミッション開発に乗り出した佃製作所。ギアゴーストやライバルメーカー・ダイダロスとの戦い、帝国重工の財前が立ち上げた新たなプロジェクト…。準天頂衛星「ヤタガラス」が導く、壮大な物語の結末とは？		
913.6/カン/	はしからはしまで	梶よう子／著	新潮社
	ひとりで商いを切り盛りすることになったお瑛は兄が残した仕入帖を開き、小間物屋や工房を訪ね歩く。頑固な指物職人の親方につめたくあしらわれたお瑛は…。「みとや」シリーズ第 3 弾。		
913.6/カワ/	思い出が消えないうちに	川口俊和／著	サンマーク出版
	「ばかやろう」が言えなかった娘、「幸せか？」と聞けなかった芸人、「ごめん」が言えなかった妹、「好きだ」と言えなかった青年…。不思議な喫茶店で過去に戻る 4 人の物語。「コーヒーが冷めないうちに」シリーズ。		

913.6/ササ/	最終標的 贈収賄事件を警察庁キャリア組の息子・俊史と追っていた城東署の葛木。しかし黒幕の国会議員が射殺され、真相は闇に葬り去られてしまう。そんななか城東署管内でひき逃げ事件が起こり…。	笹本稜平／著	徳間書店
913.6/サワ/	龍華記 高貴な出自でありながら、悪僧(僧兵)として南都興福寺に身を置く範長は、南都入りする国検非違使別当らを阻止せんと、般若坂に向かう。だがそこには思わぬ乱戦が待ちかまえていて…。	澤田瞳子／著	KADOKAWA
913.6/ナカ/	その先の道に消える アパートの一室で発見されたある“緊縛師”の死体。重要な参考人の桐田麻衣子は、刑事・富樫が惹かれていた女性だった。疑惑を逸らすため、富樫は麻衣子の指紋を偽装するが…。	中村文則／著	朝日新聞出版
913.6/=レ/	TEN ホテルの次期社長に見出された小柴俊太は、〈異物〉とされつつ独創的なアイデアと度胸で実績を挙げ、出世をする。ところが会社は上場廃止の危機に。背後にはある人物の裏切りが…。	楡周平／著	小学館
913.6/ヒガ/	沈黙のパレード 秋祭りのパレードで起きた殺人事件の容疑者はかつて草薙が担当した少女殺害事件で無罪となった男。だが男は証拠不十分で釈放され、堂々と遺族達の前に現れる。超難問に突き当たった草薙は、アメリカ帰りの湯川に助けを求め…。	東野圭吾／著	文藝春秋
913.6/ヒラ/	ある男 里枝には、2歳の次男を脳腫瘍で失って、夫と別れた過去があった。長男を引き取り、14年ぶりに故郷に戻ったあと、「大祐」と再婚するが、「大祐」は事故で命を落とす。さらに、衝撃の事実が…。	平野啓一郎／著	文藝春秋
913.6/ヤス/	緑のなかで 啓太は家から遠く離れた北の大地にあるH大学に入学する。仲間たちと青春を謳歌する彼のもとに、母が失踪したと双子の弟、絢太から連絡が入り…。青年の成長と苦悩を描く。	椰月美智子／著	光文社

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■ 11 / 20 (火) まで ■

読書週間特集

ミステリーとラブストーリーの本展

秋の夜長は、じっくりと読書に浸ってみませんか？
たくさんの人々に愛されてきた、古今東西のミステリーとラブストーリーの本をご紹介します。

■ 11 / 22 (木) ~ 12 / 11 (火) ■

可見市人権啓発センター、人づくり課 合同人権展

12月4日から10日は人権週間です。人権とは自分が自分らしく生きるための権利。誰もが身近にある人権問題についてこの機会に考えてみませんか。

ス タンプ ラ リー 実 施 中

11月29日(木)まで 「清流の国ぎふの図書館をめぐろう2018」

岐阜県公共図書館協議会に加盟する図書館で、スタンプラリーを開催中です。

各図書館で配布されている、案内リーフレットに紹介されている図書館の中から、気になる図書館を訪れてください。※スタートとゴールは地元図書館など貸出カードをお持ちの図書館へ！

案内リーフレットのスタンプシートに、図書館のカウンターでスタンプを押ししてもらい、5個集めると、トートバッグなどのプレゼントがもらえます。(全館合計で先着 3500 名)

開館時間

【本館】 平日 10:00~19:00、
土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日

11月 5,12,19,26,30日

※桜ヶ丘分館臨時休館 11月4日(日) 桜ヶ丘ハイツ秋まつり開催のため(当日は、桜ヶ丘地区センター駐車場がまつり会場になるため駐車できません。返却ポストに本を返す際もご注意ください。)

携帯用
サイト



「図書館だより」2018年11月号

発行：可見市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。